

インターバンクの声（2017 年 3 月 2 日）

トランプ氏の議会演説では、議会に官民出資による 1 兆ドルのインフラ投資の法案承認を要請することや、中間層への「大規模な」税負担軽減措置と法人税改革などについて言及していた。

事前に想定された以上に景気刺激の見込めるような材料は見られなかったが、経済成長を重視した内容であり失望には至っていない。

ひとまずトランプ大統領の議会演説も無難に通過し、次のメインピックスとなり得るのは FRB の金融政策ということになりそうだ。

3/10(金)に米 2 月雇用統計、3/15(水)に米 2 月消費者物価指数と 3 月利上げを占う上で重要な経済指標が控えているが、FRB 高官が対外的な情報発信を禁じられる『ブラックアウト期間』の発表となるため、自らの発言で利上げを織り込ませることはできない。

そのため、一昨日のサンフランシスコ連銀・ウィリアムズ総裁の講演、NY 連銀・ダドリー総裁のインタビューなどに、早めに 3 月利上げを織り込ませる意図があったのではないかと憶測まで出ている。

明日 3 日にイエレン FRB 議長・フィッシャー副議長の講演がそれぞれ予定されているが、3 月利上げを金融市場に織り込ませるためには事実上、最後のチャンスとなるため、非常に興味深いイベントになる。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。